

医療用医薬品バーコードおよび病院薬剤部門の情報化に関する調査

回答者に関する設問

・メールアドレス

()

・都道府県名

()

・施設名

()

・施設代表電話番号（ハイフンなし。半角数字のみ。例：0334060485）

()

*は必須解答項目となります。

○は択一、□は複数選択可能です。

施設に関する設問

薬剤師数、薬剤師以外の者の人数、病床数、病院種別についてご回答ください

・薬剤師数 *

1人

16～20人

2人

21～30人

3人

31～40人

4～6人

41～60人

7～9人

61人以上

10～15人

※施設内に勤務する薬剤師数を合計してください。

・薬剤師以外の者の人数 *

0人

5人

1人

6～8人

2人

9～11人

3人

12人以上

4人

※ 本アンケート内の『薬剤師以外の者』とは、調剤に最終的な責任を有する薬剤師の指示に基づき PTP シート包装の医薬品のピッキング等の調剤業務を補助する「薬剤師以外の者」を示します。[平成 31 年 4 月 2 日 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長発出「調剤業務

のあり方について」(<https://www.mhlw.go.jp/content/000498352.pdf>) 参照]

・病床数 *

- 20～49床
- 50～99床
- 100～299床
- 300～499床
- 500床以上

・病院種別*

- 一般病院（許可病床数で、一般病床を80%以上有する）
- 療養型病院（許可病床数で、療養病床（医療型+介護型）を80%以上有する）
- 精神科病院（許可病床数で、精神病床を80%以上有する）
- 1～3以外の病院（ケアミックス）
- 特定機能病院
- 地域医療支援病院

情報システム導入・活用に関する調査

現在の医療機関および薬剤部門では、様々な情報システムが導入・活用されています。オーダーリングシステムや電子カルテを含めた病院情報システム、調剤システムや薬袋作成システム等の調剤支援システム、自動錠剤一包化装置や自動注射薬払出装置等の調剤ロボットが稼働している施設は、年々増加しています。また、情報システムの利便性向上や医療事故防止対策、情報共有等のためにバーコードが活用されるようになりました。

貴施設における情報システムの現状についてご回答ください

1. 病院情報システムを導入していますか？*

- 導入している →【『導入している』を選択した場合】へ
- 導入していない →【2. 調剤業務を支援する調剤ロボットを導入していますか？】へ

【『導入している』を選択した場合】

前問で『導入している』を選択した場合、該当するもの1つにチェックをつけてください*

- 電子カルテシステム+医事会計システム
- オーダーリングシステム（処方・注射とも）+医事会計システム
- オーダーリングシステム（処方のみ）+医事会計システム
- オーダーリングシステム（注射のみ）+医事会計システム
- 医事会計システムのみ

○ その他（ ）

2. 調剤業務を支援する調剤支援装置を導入していますか。

該当する機器全てにチェックをつけてください。

- 自動錠剤一包化装置
- 一包化鑑査支援装置（一包化後の画像鑑査装置）
- 一包化返品薬分別装置（裸錠を自動分別）
- 錠剤鑑別装置
- 調剤画像管理装置（調剤や払い出し時の画像管理）
- 自動 PTP シート払出装置
- 計数調剤鑑査装置（バーコードまたは画像識別）
- 自動散薬調剤装置・散薬調剤ロボット ※単機能の分包機を除く
- 自動水剤分注装置
- 自動注射薬払出装置
- 自動注射薬混合調整装置（抗がん剤ミキシングロボットなど）
- 返品注射薬分別装置（返品された注射薬を分別）
- 抗がん剤混合調製装置
- その他（ ）

3. 薬剤部門にはどのような支援システムを導入していますか？該当する機器全てにチェックをつけてください

- 調剤支援システム（処方鑑査・処方せん出力）
- 薬袋作成システム
- 注射支援システム（処方鑑査・注射せん出力）
- 注射薬混合調製支援システム
- 特定生物由来製品管理システム
- 物流管理システム（発注・払出・在庫管理）
- 麻薬管理システム
- レジメン管理システム
- 定数配置薬管理システム
- 服薬指導支援システム（薬剤情報提供・薬歴管理）
- 病棟薬剤業務支援システム（業務日誌）
- 院内製剤管理システム
- その他（ ）

4. 医療機関における2次元バーコード(QRコード)の活用について、該当するもの全てに

チェックをつけてください

- 院外処方箋に処方内容の2次元バーコード(QRコード)印字
- 院内処方箋に処方内容の2次元バーコード(QRコード)印字
- 院外処方箋に検査値の2次元バーコード(QRコード)印字
- 電子版お薬手帳用2次元バーコード(QRコード)印字 (診療報酬明細や薬剤情報提供書など)
- 薬袋に処方内容の2次元バーコード(QRコード)印字
- その他 ()







A：医薬品に関するバーコードの利用に関する調査

医薬品の取り違え事故の防止及びトレーサビリティ確保並びに医薬品の流通効率化を推進するため、医療用医薬品は販売包装単位の JAN コードが廃止され、調剤包装単位や販売包装単位、元梱包装単位に新バーコード表示が行われています。購入管理や在庫管理をはじめ、計数調剤・計量調剤、診療部門における注射薬調製、患者への施用時の確認等における利用が期待されています。

これらの新バーコードの他、医療機関独自に作成し医薬品に表示されたバーコードを含め、医薬品に関するバーコードの利用について、設問にご回答ください。

(注射せん発行時に出力される施用ラベルや、患者のリストバンドにある患者番号のバーコード等を除く)

医療用医薬品の新バーコード表示例

調剤包装単位	販売包装単位	元梱包装単位
 (01)14912345678901	 (01)149871111111111 (17)050822(10)123456	 (01)149871111111111(17)050822(S0)10(10)123456
GS1データバー限定型 (一次元シンボル)	GS1データバー限定型 合成シンボルCC-A (二次元シンボル)	GS1-128 (一次元シンボル)
 PTPシート、バイアル等	 PTPシートを10枚収納した箱等	 販売包装単位である箱が 10箱入った段ボール箱等

1. 貴施設において医療用医薬品に新バーコードを利用していますか？*

- している →【どこで利用していますか?】へ
- していない →【2. 薬剤部門における新バーコードの利用について、どのような印象を持っていますか?】へ

【利用「している」を選択した場合】

(ア)新バーコードを利用している場合、どのような場面に医療用医薬品のバーコード(※)を使用していますか。また、どのようなバーコードを使用していますか?該当するもの全てにチェックをつけてください

※ 販売 GS1:販売包装単位(医療機関に納品される包装)に表示された、
小さなバーコード(例:PTPシートを10枚収納した箱)

調剤 GS1:調剤包装単位(注射の1本や錠剤シート)に表示された、
小さなバーコード

その他:施設独自で作成した医薬品を管理するバーコード(別途作成したJANコードのバーコードラベル、物流システムの医薬品管理用バーコード付きラベル)等

(A) 薬品管理部門

	販売 GS1	調剤 GS1	その他
(a)発注・納品管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(b)出庫・返品管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(c)在庫管理・充填業務(調剤棚、錠剤分包機、アンプルピッカー等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(d)棚卸し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(e)その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(B) 調剤部門(処方)

	販売 GS1	調剤 GS1	その他
(a)【薬剤師以外の者】ピッキング時の取り違い防止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(b)【薬剤師】計数調剤時の取り違い防止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(c)【薬剤師】散剤計量調剤時の取り違い防止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(d)【薬剤師】水剤計量調剤時の取り違い防止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(e)【薬剤師】鑑査時の薬剤確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(f)その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

(C)病棟等

	販売 GS1	調剤 GS1	その他
(a) 服薬実施入力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(b) 残薬確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(c) 返納薬管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(d)その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・(A)～(C)の間で『その他』を選択した場合、使用場面を具体的に記述してください
()

・調剤でバーコード照合している場合、照合の有無を入院調剤と外来調剤で区別していますか。

- 入院・外来の区別なくバーコード照合している
- 主に入院調剤でバーコード照合している
- 主に外来調剤でバーコード照合している

・調剤でのバーコード利用について、時間帯（日中・夜間）や使用職種（薬剤師・薬剤師以外の者）など、バーコード照合の運用に制限がある場合は、記述してください
()

(D)調剤部門（注射①）

	販売 GS1	調剤 GS1	その他
(a)【薬剤師以外の者】ピッキング時の取り違い防止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(b)【薬剤師】注射剤取り揃え時の取り違い防止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(c)【薬剤師】鑑査時の薬剤確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(d)その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・前問で『(d)その他』を選択した場合、使用場面を具体的に記述してください
()

(E) 調剤部門（注射②） ※※特定生物由来製品を全て輸血部門で管理されている場合は、輸血部門でのバーコード使用状況についてご回答ください

	販売 GS1	調剤 GS1	その他
(a)【特定生物由来製品管理】製品名読み込み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(b)【特定生物由来製品管理】製造番号読み込み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(c)【特定生物由来製品管理】有効期限読み込み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(d)【混合調製】抗癌剤調製	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(e)【混合調製】高カロリー輸液調製	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(f)【混合調製】その他調製	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・前問で『(f)【混合調製】その他調製』を選択した場合、使用場面を具体的に記述してください

()

・調剤（注射）のバーコード利用について、時間帯（日中・夜間）や使用職種（薬剤師・薬剤師以外の者）など、バーコード照合の運用に制限がある場合は、記述してください

()

(F) 病棟・外来

	販売 GS1	調剤 GS1	その他
(a)患者認証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(b)注射薬の与薬準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(c)内服薬の与薬準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(d)外用薬の与薬準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(e)定数配置薬(注射薬)の使用確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(f)定数配置薬(内服薬)の使用確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(g)定数配置薬(外用薬)の使用確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(h)定数配置薬の請求・在庫管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(i)【特定生物由来製品の施用管理】製剤名読み込み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(j)【特定生物由来製品の施用管理】製造番号読み込み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(k) 【特定生物由来製品の施用管理】 使用期限読み込み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(l) その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・前問で『(l)その他』を選択した場合、使用場面を具体的に記述してください

()

(G)手術室

	販売 GS1	調剤 GS1	その他
(a) 注射薬の与薬準備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(b)定数配置薬(注射薬)の使用確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(c)定数配置薬の請求・在庫管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(d)特定生物由来製品の施用管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(e)その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・前問で『(e)その他』を選択した場合、使用場面を具体的に記述してください

()

2. 薬剤部門におけるバーコードの利用について、どのような印象を持っていますか。

該当するもの全てにチェックをつけてください

- インシデント/アクシデント減少に貢献
- 調剤行為を記録できる
- 夜勤など一人で調剤する場合は有効
- 在庫の管理が精緻化する
- バーコード読み取りが面倒
- バーコード読み取りを忘れる
- 業務量が増加する
- マスタメンテナンスの負担が大きい
- 導入コストが高い
- その他

()

3. 薬剤部門にある医薬品に関するバーコードリーダーの有無について、該当するもの全てにチェックをつけてください (バーコードリーダーが持つ機能でご判断ください)

	【GS1 対応機	【GS1 対応機	【GS1 非対応
--	----------	----------	----------

	種】二次元シンボル読み込み対応	種】一次元シンボル読み込み対応	機種】一次元(JANコード等)
(a)薬品管理部門(在庫管理および発注部門)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(b)調剤部門	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(c)注射薬調剤部門	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(d)製剤部門	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(e)無菌調製部門	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(f)その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・前問で『(f)その他』を選択した場合、具体的に部門名を記述してください

()

B. 貴施設の薬剤部内のネットワーク環境について

1. 薬剤部門内にインターネットに接続できる環境はありますか。*

- 有線 LAN 環境がある
- 無線 LAN 環境がある
- インターネットに接続できる環境はない
- 分からない

2. 薬剤部門システムは電子カルテ等の医療情報システムに接続していますか。*

- 接続している
- 接続していない
- 分からない

3. 薬剤部門システムはインターネット等の外部ネットワーク(保守は含まない)と接続していますか。*

- 常時接続している
- 必要時に接続している
- 接続していない
- 分からない

4. 薬剤部門システムは保守メンテナンスのために外部のネットワークと接続していますか。

- 常時接続している
- 必要時に接続している
- 接続していない
- 分からない

C. 医薬品に関連するマスタの管理について

1. 薬剤部門内で医薬品に関するマスタの作成などのメンテナンスを行っていますか。

*

- はい →【医薬品に関するどのようなマスタをどの担当者が管理を行っていますか】へ
- いいえ →【D. オンライン資格確認等システムについて】へ
- 分からない →【D. オンライン資格確認等システムについて】へ

【はいの場合】

(ア) 医薬品に関するどのようなマスタをどの担当者が管理を行っていますか。

	医薬品情報担当	調剤担当	その他	薬剤部門では担当していない
電子カルテ				
医薬品マスタ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
用法マスタ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
処置マスタ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
クリニカルパス ※採用薬・後発品 の入れ替えなど	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
医薬品のセット 登録など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
薬剤部門システム				
医薬品マスタ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
用法マスタ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他のマスタ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の部門システム の薬品マスタ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

前問で「その他のマスタ」を選択した場合、その内容を記載してください。

(イ) 医薬品関連のマスタ管理に1週間でどれくらいの時間がかかりますか。薬剤部門での1週間のおおよその合計時間でお答えください。

- 1 時間程度
- 5 時間程度
- 10 時間程度
- 20 時間程度
- 30 時間以上

D. オンライン資格確認等システムについて

1. マイナンバーカードの個人認証や健康保険証の記載情報を用いて、オンラインで健康保険の資格確認を可能にする仕組み「オンライン資格確認等システム」が開始されています。貴施設では、このオンライン資格確認等システムを導入していますか。*
- 導入している → 【(ア) どのような機能を利用していますか】 へ
 - 導入する予定はない → (オ) 利用していない理由はありますか】 へ
 - 申請中・検討中 → 【(カ) いつ頃導入予定ですか】 へ
 - 分からない → 【2. 「オンライン資格確認等システム」の利用拡大により、どの薬剤関連業務での活用を期待しますか。】 へ

【導入している場合】

(ア) どのような機能を利用していますか。*

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 保険資格の確認 | <input type="checkbox"/> 断の確認 |
| <input type="checkbox"/> 薬剤情報の閲覧 | <input type="checkbox"/> 人工腎臓・持続緩徐式血液濾過・腹膜透析の確認 |
| <input type="checkbox"/> 特定健診等情報の閲覧 | <input type="checkbox"/> 在宅療養指導管理料の確認 |
| <input type="checkbox"/> 医療機関名の確認 | <input type="checkbox"/> 特になし |
| <input type="checkbox"/> 診療年月日の確認 | <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 放射線治療、画像診断、病理診 | |

(イ) 直近 1 カ月間のマイナンバー・保険証の利用件数はどの程度ですか。*

- かなり利用されている (50%以上)
- あまり利用されていない (10%~50%未満)
- ほとんど利用されていない (10%未満)
- 分からない

(ウ) 直近 1 カ月間の資格確認件数はどの程度ですか。

- かなり利用されている (50%以上)
- あまり利用されていない (10%~50%未満)
- ほとんど利用されていない (10%未満)
- 分からない

(エ) 導入時の課題はありましたか。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 機器の調達が困難 | <input type="checkbox"/> 分からない |
| <input type="checkbox"/> システム導入費が高い | <input type="checkbox"/> 課題はみられなかった |
| <input type="checkbox"/> 院内での調整が困難 | <input type="checkbox"/> その他 () |

(オ) 導入して感じた課題はありますか。*

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 利用する患者が少ない | <input type="checkbox"/> 端末が少ない |
| <input type="checkbox"/> 本人同意が煩雑 | <input type="checkbox"/> 薬剤部門で利用できない（利用しにくい） |
| <input type="checkbox"/> 本人確認が煩雑 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 取得した情報の確認が煩雑 | |

【導入する予定がない場合】

(カ) 利用していない理由はありますか。*

- 利用者がいない
- 医療情報システムを導入していない
- レセプトシステムを導入していない
- 分からない
- その他（ ）

【申請中・検討中の場合】

(キ) いつ頃導入予定ですか。*

（ 年 月ごろ予定）

(ク) どのような機能を利用予定ですか。*

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 保険資格の確認 | <input type="checkbox"/> 断の確認 |
| <input type="checkbox"/> 薬剤情報の閲覧 | <input type="checkbox"/> 人工腎臓・持続緩徐式血液濾過・腹膜透析の確認 |
| <input type="checkbox"/> 特定健診等情報の閲覧 | <input type="checkbox"/> 在宅療養指導管理料の確認特 |
| <input type="checkbox"/> 医療機関名の確認 | <input type="checkbox"/> にない |
| <input type="checkbox"/> 診療年月日の確認 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 放射線治療、画像診断、病理診 | |

2. 「オンライン資格確認等システム」の利用拡大により、どの薬剤関連業務での活用を期待しますか。*

- | | |
|-----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 持参薬管理業務 | <input type="checkbox"/> 相互作用の確認 |
| <input type="checkbox"/> 服用薬の確認業務 | <input type="checkbox"/> 診療内容の確認 |
| <input type="checkbox"/> 重複薬剤の確認 | <input type="checkbox"/> 病院と薬局間の連携 |
| <input type="checkbox"/> アレルギーの確認 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 副作用の確認 | <input type="checkbox"/> 期待するものはない |

E. 電子添文について

1. 2021年8月より医療用医薬品の包装への添付文書の封入が原則として廃止されました。貴施設では添付文書の確認はどのように行っていますか。

	紙の添付文書を確認する※1	医療情報システムのDIツールで検索する	医療情報システムのデータベースで検索する	医療情報システムと接続した外部システムで検索する	PMDAの添付文書閲覧ページで検索する	各製薬企業のページで検索する	その他()
薬剤部門 (DI)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
薬剤部門 (調剤)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
病棟	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外来診療科	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他の中央部門	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1：最新版をその都度病院で印刷している、各製薬企業から持参（送付）させている前問でその他を選択した場合、その内容を記載してください。

2. 添付文書の電子化に対応するため特別に実施したことはありますか。*
- ある →【(ア) 何を実施しましたか】へ
- ない →【3. 包装への紙の添付文書の封入が無くなったことで変化はありましたか】へ

【ある場合】

(ア) 何を実施しましたか。

- パソコンを導入した
- スマートフォンを導入した
- 薬剤部門のインターネット回線を設置（増設）した
- 病棟に無線 LAN 環境を準備した
- バーコードリーダーを導入した
- その他 ()

3. 包装への紙の添付文書の封入が無くなったことでどのような変化がありましたか。

*

- 廃棄するごみの量が減少した
- 箱が開封しやすくなった
- 簡単に添付文書がみられなくなった
- 添付文書の印刷の手間がかかるようになった
- 薬品の破損が増えた（添付文書の緩衝材としての効果）

【できないの場合】

(ウ) 提供できない理由は何ですか。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 必要な患者がない(少ない) | <input type="checkbox"/> 薬剤部門システムが対応していないから |
| <input type="checkbox"/> 薬剤部門として提供する意義がない | <input type="checkbox"/> 従来の方法で十分だから |
| <input type="checkbox"/> 患者からの要望がないから | <input type="checkbox"/> お薬手帳への情報提供を行っていないから |
| <input type="checkbox"/> システム改修が必要だから | <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 電子カルテシステムが対応していないから | |

2. 直近の1年間に電子版お薬手帳を持参された患者さんはおられますか。(延べ人数で回答ください) *

- | | |
|---|--|
| <input type="radio"/> いない | <input type="radio"/> 101~500人程度(月50人まで) |
| <input type="radio"/> 1~10人程度(月1人以下) | <input type="radio"/> 501人以上 |
| <input type="radio"/> 11~50人程度(月4、5人) | <input type="radio"/> 把握していない・分からない |
| <input type="radio"/> 51~100人程度(月10人まで) | |

3. 電子版お薬手帳を持参された場合、薬の内容をどのように確認していますか。(する予定ですか)

- スマートフォンなどを直接閲覧し転記などして確認している
- スマートフォンなどを直接閲覧し写真を撮影し確認している
- e-薬 Link を使用し確認している
- 電子版お薬手帳の薬内容を提示するための2次元バーコード(QRコード)を読み込んで確認している
- ICカードリーダーで情報を読み込んで確認している
- その他 ()

4. 電子版お薬手帳を用いた薬局との連携で提供いただける事例がある場合は、事例をご記載ください。別途、本研究担当者からご連絡し、詳細な内容をうかがわせていただくことがあります。

{自由記載 }

5. 薬剤部門として電子版お薬手帳に実装してほしい機能はありますか。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 電子カルテシステムから電子版お薬手帳へのデータ連携機能(カルテ記事や検査値の連携など) | <input type="checkbox"/> 電子版お薬手帳から電子カルテシステムへのデータ連携機能(お薬手帳の薬歴等の連携など) |
|--|---|

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 薬剤師によるコメントの記載機能 | <input type="checkbox"/> 服薬アラーム機能 |
| <input type="checkbox"/> 検査データの閲覧機能 | <input type="checkbox"/> 残薬管理機能 |
| <input type="checkbox"/> 患者の健康状態や副作用等の登録機能 | <input type="checkbox"/> OTC薬の記録機能 |
| <input type="checkbox"/> 医薬品のロット管理機能 | <input type="checkbox"/> その他 () |

6. 電子版お薬手帳のシステムの維持管理は誰(どの団体)が行うべきと思いますか。
一番近いものを1つ選んでください。*

- 病院・診療所
- 薬局
- 患者
- 健康保険組合
- 医師会・歯科医師会・薬剤師会などの公益社団法人
- 地域(市町村・医療圏単位)の地域連携協議会
- 都道府県
- 製薬企業
- その他 ()

7. 電子版お薬手帳のシステムの維持管理に関する費用は誰(どの団体)が負担すべき
と思いますか。*

- 病院・診療所
- 薬局
- 患者
- 健康保険組合
- 医師会・歯科医師会・薬剤師会などの公益社団法人
- 地域(市町村・医療圏単位)の地域連携協議会
- 都道府県
- 製薬企業
- 広告収入
- データ活用による収入
- その他 ()

8. 上記の維持管理費用は患者1人につき1カ月当たりどの程度が妥当と思いますか。
{自由記載 }

G. 電子処方箋について

1. 電子処方箋導入の予定（導入済を含む）はありますか。*

- ある → 【(ア) いつ頃導入予定ですか。】へ
 - ない → 【2. 電子処方箋のメリットは何だと思えますか】へ
 - 分からない → 【2. 電子処方箋のメリットは何だと思えますか】へ
- 【あるの場合】

(ア) いつ頃導入予定ですか。

- 導入済み
- 令和5年上半期に導入予定
- 令和5年下半期に導入予定
- 令和6年以降に導入予定
- 導入時期は未定

2. 電子処方箋のメリットは何だと思えますか。*

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 病院薬剤師の業務の効率化 | <input type="checkbox"/> 期待するものはない |
| <input type="checkbox"/> 薬局薬剤師の業務の効率化 | <input type="checkbox"/> 薬の過去データの確認 |
| <input type="checkbox"/> 処方意図の理解促進 | <input type="checkbox"/> 分からない |
| <input type="checkbox"/> 重複投薬の減少 | <input type="checkbox"/> メリットはない |
| <input type="checkbox"/> 疑義照会の減少 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> 併用禁忌の確認 | |

3. 貴施設で電子処方箋を進めるにあたり課題はありますか。*

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 関係者の知識不足 | <input type="checkbox"/> システム導入の費用負担 |
| <input type="checkbox"/> 病院内の調整 | <input type="checkbox"/> 課題はない |
| <input type="checkbox"/> 運用の変更 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| <input type="checkbox"/> マスタ等の管理 | |

4. 貴施設に HPKI カードを持った医師はどれくらい在籍していますか。*

- ほぼ全ての医師が持っている
- 多く（50%～100%未満）の医師が持っている
- 多少（数%～50%未満）の医師が持っている
- HPKI カードを持った医師はいない
- 分からない

5. 貴施設に HPKI カードを持った薬剤師はどれくらい在籍していますか。*

- ほぼ全ての薬剤師が持っている

- 多く（50%～100%未満）の薬剤師が持っている
- 多少（数%～50%未満）の薬剤師が持っている
- HPKI カードを持った薬剤師はいない
- 分からない

6. 貴施設の周辺で電子処方箋を受ける体制はありますか。一番近いものを回答ください。*

- ない
- 病院近辺に数軒ある
- 地域の薬剤師会の単位で数軒ある
- 準備中
- 分からない

7. 施設内の電子処方箋に関する問い合わせ窓口はどこですか。一番近いものを回答ください。*

- 薬剤部門
- 医事会計部門
- 情報システム関係部門
- 上記以外の事務部門
- 未定
- 分からない

H. RPA について

1. 薬剤部門で RPA（ロボティックプロセスオートメーション(Robotic Process Automation))を導入していますか。*

※参考文献：「総務省 RPA（働き方改革：業務自動化による生産性向上）」
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin02_04000043.html

- はい → 【(ア) どのような業務に利用していますか】へ
- いいえ → 【2. 今後、薬剤部門で RPA を進める上での課題はありますか】へ

【はいの場合】

(ア) どのような業務に利用していますか。

- 帳票の自動作成
- データの自動収集及び集計
- キーボードやマウスなどパソコン画面操作の自動化
- 別システムのアプリケーション間のデータの受け渡し

- ガイドラインの存在を知らない
- 分からない

3. 薬剤部門での患者・受診者情報が保管されている貴施設内の情報端末（PC、タブレット、やスマートフォンスマートフォン等）および USB メモリの管理ルールについてお尋ねします。下記の各ルールの徹底度合いに対するご認識についてお答えください。

	ルールがあり、徹底されている	ルールはあるが、徹底されているかどうか、自信がない	ルールはあるが、徹底されていない	ルールはない	不明・分からない
端末の持ち出し時のルール	○	○	○	○	○
USB メモリの持ち出し時のルール	○	○	○	○	○
外部媒体（USB メモリ等）と接続するときのルール	○	○	○	○	○
インターネットに接続するときのルール	○	○	○	○	○
端末から離席するときのルール	○	○	○	○	○
端末を廃棄する際のルール	○	○	○	○	○
USB メモリを廃棄する際のルール	○	○	○	○	○

4. 過去3年間に薬剤部門ではサイバー攻撃や情報漏洩等を経験しましたか。*

- 経験した →【(ア) 過去3年間に薬剤部門で経験したことがあるサイバー攻撃や情報漏洩等をすべてお答えください】へ
- 経験しなかった →【6. 貴施設での情報セキュリティ対策に関する教育の実施状況についてお答えください】へ
- 分からない →【6. 貴施設での情報セキュリティ対策に関する教育の実施状況についてお答えください】へ

【経験した場合】

(ア) 過去3年間に薬剤部門で経験したことがあるサイバー攻撃や情報漏洩等を

お答えください。

- 薬剤部門システムのサーバがウイルス感染した。
- 薬剤部門の端末（PC やタブレット）がウイルス感染した。
- 薬剤部の職員が院内システムを使って、貴施設内ルールに違反してインターネットにアクセスした。
- 薬剤部門の職員が貴施設内の PC やタブレットから、フィッシング（詐欺）サイトにアクセスさせられた。
- 薬剤部門のホームページが改ざん・乗っ取りされた。
- 患者・受診者の個人情報にアクセスできる端末が、なりすましメール（迷惑メールなど）を受信した。
- 患者・受診者の個人情報（電子・紙媒体を含む）が漏えいした。
- 従業員の個人情報（電子・紙媒体を含む）が漏えいした。
- 患者・従業員以外の情報（電子・紙媒体を含む）が漏えいした。
- 薬剤部門システムに外部からの不正ログインがあった。
- 業務用の PC・タブレット・スマートフォンの紛失・盗難があった。
- USB メモリ等の外部媒体の紛失・盗難があった。
- 患者・受診者の個人情報が含まれるメールの誤送信があった。
- 患者・受診者の個人情報が含まれる FAX の誤送信があった。
- 情報システムや医療機器等へのサイバー攻撃により患者に直接の危害があった。
- その他（ ）
- 回答できない

5. 貴施設（薬剤部門内単独での開催を含む）での情報セキュリティ対策に関する教育の実施状況についてお答えください。*

- 半年から1年に1回程度実施している → 【(イ) 情報セキュリティ対策に関する教育を…】へ
 - 1年から3年に1回程度実施している → 【(イ) 情報セキュリティ対策に関する教育を…】へ
 - 3年から5年に1回程度実施している → 【(イ) 情報セキュリティ対策に関する教育を…】へ
 - 実施していない → 【J. 電子化の現状と今後実施していきたい電子化】へ
 - 分からない → 【J. 電子化の現状と今後実施していきたい電子化】へ
- 【実施している場合】
- (ア) 情報セキュリティ対策に関する教育を行っている主な部署はどこですか。
- 薬剤部門以外の病院内部署
 - 薬剤部門

外部委託

不明

(イ) 情報セキュリティ対策に関する直近で開催した教育の方法について当てはまるものをお答えください。

- 専門家を招いての講習会を用いて実施している
- 行政等から出されているガイドラインを用いて実施している
- 担当部署内で作成した教材を用いて実施している
- 専門機関の講座を用いて実施している
- e-learning 講座を用いて実施している
- 市販されている教材を用いて実施している
- その他 ()

J. 電子化の現状と今後実施していきたい電子化

1. 薬剤部門として今後取り組んでいきたいものはありますか。

- 調剤機器の導入
- 医薬品バーコードの利用促進
- 薬剤師間の情報伝達ツールの導入
- 他職種との情報伝達ツールの導入
- 患者との情報伝達ツールの導入
- 薬局との情報伝達ツールの導入
- 業務の自動化の実施
- その他 ()

2. これからの医療の情報化に向けて何を知っておくべきと感じますか。

- 医療情報システムとは何かについて
- 医療情報への倫理的配慮について
- 医療情報システムの概要について
- 医療情報システムの安全管理に関するガイドラインの概要について
- 個人情報保護法の概要について
- 薬剤関連の情報システムの概要について
- 医療情報システムに関連する情報収集について
- 薬剤関連のコードについて
- 医薬品関連で使用されるバーコードについて
- システムを使う目的について
- システムの効果について
- 第三者のシステムの評価について

- 情報システムの効果が不十分であるときの原因について
- 注意事項等情報の電子化について
- オンライン資格確認等システムについて
- 電子処方箋について
- HPKI（Healthcare Public Key Infrastructure）について
- オンライン服薬指導について
- 医療情報システムの診療報酬について
- 他施設の最新の事例について
- その他（ ）

以上でアンケート調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。